

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 20 年 2 月 22 日 提出]

No.	47	実施済み										
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	監理課					
重点項目	3 歳入確保のための主要な取り組み											
取組項目	38 遊休町有財産の積極的処分 (3)遊休町有財産の処分等											
経過・現状 (H17.4.1現在)	・遊休町有財産の管理について、分譲地については台帳・図面等の整備はされているが、その他の町有土地について十分な把握がされていない。											
推進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 18 年度					
	検討	実施	-	-	-							
実績評価	B	A	-	-	-	達成年次	平成 18 年度					
	計画見直し	計画どおり	-	-	-							
行動概要	目標	遊休町有財産及び分譲地の処分										
	期待される効果	・遊休町有財産及び分譲地を処分することで、維持経費が削減されるとともに自主財源の確保が可能となる。										
	必要性 問題点	・以前から保有している分譲地についても、販売実績が減少している中で、今後販売促進が可能であるか懸念される。										
	対象	遊休町有財産										
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(44,146 千円)					
		17年度 (実績)	・遊休町有財産の把握台帳の整備。				目標 数値				効果	歳入(千円)
	18年度 (実績)	・遊休町有財産台帳を作成し、有効活用が見込めない遊休地について積極的に売払促進に努めた。なお、分譲地についても町のホームページ等を活用し、また、地区回覧で公募を行い販売促進に努めた。 (内 訳) 遊休町有財産売却;14件、14,116千円 分譲地売却;5件、22,530千円				目標 数値				効果	歳入(36,646 千円)	歳出(千円)
		19年度	・4月に地区回覧で公募を行い、分譲地についても8月の広報誌に同時掲載し周知を図る。また、貸付土地についても積極的に売払促進を図る。 ・販売促進について、価格面積の見直しを検討。				目標 数値	分譲地;32区画			効果	歳入(2,500 千円)
	20年度						目標 数値				効果	歳入(2,500 千円)
		21年度					目標 数値				効果	歳入(2,500 千円)
関係例規等	名称						改正時期					

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 20 年 2 月 22 日 提出]

No.	48	実施済み						
基本方針	1 財政の健全化					担当課名	建築課	
重点項目	3 歳入確保のための主要な取り組み							
取組項目	38 遊休町有財産の積極的処分 (3)遊休町有財産の処分等							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・遊休町有財産の把握に努めた。							
推 進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 18 年度	
	検討	実施	-	-	-			
実績評価	B	A	-	-	-	達成年次	平成 18 年度	
	計画見直し	計画どおり	-	-	-			
行 動 概 要	目標	遊休町有財産の処分						
	期待される効果	・遊休町有財産及び分譲地を処分することで、維持経費が削減されるとともに自主財源の確保が可能となる。						
	必要性 問題点	・限られた財源を有効活用するため、公共工事の縮小・休止、コスト削減、着手時期の延期等の計画を再検討する。 ・現在の財政状況を踏まえた、適正な時期・規模での事業の実施。						
	対象	遊休町有財産						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)	
		17年度 (実績)	・建築課所有の財産を処分できるかどうか検討した。				目標 数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	18年度 (実績)	・遊休町有財産を監理課に引き継ぐ。7筆、359.42㎡、予定額18,510千円。				目標 数値		
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
	19年度	・公営住宅を解体して更地になった土地を監理課に引き継ぐ予定。				目標 数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
20年度					目標 数値			
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
21年度					目標 数値			
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称					改正時期		